

社会民主主義 フォーラム青森 通信

NO.10 2022年2月20日
フォーラム青森
〒030-0802
青森市本町3丁目3番11号
青森県平和労組会議気付
forum-ao2021@outlook.jp
080-5413-2848 (事務所専用 TEL)



鶴賀谷幹事長

立憲・鶴賀谷幹事長 との懇談会

1月29日、社民フォーラム津軽支部は、立憲民主党青森県連鶴賀谷幹事長との懇談会（弘前市総合学習センター）を開催し、9名（会員16名中）の参加のもと鶴賀谷幹事長との意見交換を行った。

冒頭、赤平支部長は「昨年は第49回衆議院選挙が実施され、結果は、自民党の絶対安定多数261議席を単独で許し、日本維新の会の躍進や国民民主党も憲法審査会に前のめりになるなど、9条改憲が危惧されている。社民フォーラムは、立憲民主党全体としてはただちに取り組むことが困難な運動や課題に、労組や市民と一緒に取り組む組織である。同時に、立

この懇談会

憲民主党の選挙闘争方針に従い、国政、地方議会の選挙で立憲民主党の公認・推薦候補が議席を獲得できるよう政治闘争を強化していく。本日の意見交換会で課題を浮き彫りにし、来る第26回参議院議員選挙勝利につなげていただきたい」と挨拶がありました。

次に、鶴賀谷幹事長から「衆議院選挙においては、皆さんの支持・支援を得ながらたたかってきたが、県内3区ともに自民独占を許す形となった。青森1区・升田候補は、惜しくも次点となり比例復活もかなわなかった。立憲民主党は、旧社会党と違って地域に根を張った活動ができていないと感じている。衆院選の総括をしっかり行うとともに、2月19日に立憲民主党青森県連選対を設置し、参院選に向かっていく。4月の弘前市長選挙については、立民推薦候補を調整中であり近日中

に発表する予定である。県連は3月20日予定の定期大会において、現在2名の共同代表制から1名の代表制とする。今日は、皆さんから忌憚のない意見を頂戴し、今後の政治活動の糧としたい」とありました。

会員からは「立憲民主党が何を訴えている政党なのか、よくわからない」「選挙公約ではいろいろな政策を並べているが、他党との差別化ができていないのでは」「立憲の政策をもっとわかりやすく発信すべきだ」「衆院選で共産党との共闘による候補一本化で、小選挙区当選の増加につながったという良い評価があつてしかるべき。特に、7月の参院選青森選挙区では共産党との共闘は欠かせないのでは」などの発言があり、鶴賀谷幹事長から「皆さんの意見をしっかりと受け止めます。このような場を設けて頂くことは大変ありがたい。立民に対し、引き続きともに支援をお願いする」とし、閉会した。

(赤平 泰衛)

参院選比例区（予定候補）立憲民主党

2019年=8議席獲得

・白 真勲	63	現③	元内閣府副大臣
・青木 愛	56	現②	元衆院議員
・有田 芳生	69	⇒未定	現② ジャーナリスト
・石橋 通宏	56	現②	党幹事長代理 情報労連
・市井紗耶香	38	⇒辞退	タレント
・鬼木 誠	58	新	元自治労書記長 自治労
・古賀 千景	55	新	日教組役員 日教組
・柴 慎一	57	新	JP 労組役員 JP 労組
・辻元 清美	61	新	元衆院議員
・村田 享子	38	新	元参議院議員秘書・基幹労連

2022.2月現在

▼事務局だより▲
▼一年前の2月20日、「社会民主主義フォーラム青森」は結成されました。100名を超える一般会員・パートナー会員となっていますが、まだまだ組織的な活動は不十分だと思っています。
▼第2回総会を準備すべく1月28日に幹事会を予定していたのですが、新型コロナウイルス・オミクロン株の感染拡大のため延期のままで。今後の活動・財政（会費の徴収など）の具体化を進めるため、議論を早めたいものです。（佐藤）



蛭名 和子

えびな和子
市議会報告
NO.13 より



冒頭、泉本部長はあいさつで、つながる本部は他の政党にはない注目すべき取り組みであるとした上で「『国民の日常の暮らしや働く現場と政治をつなげる活動』は当たり前だと思いがちだが、当たり前のことに真剣に取り組んでいるか常日頃から意識することが重要。一人の困っている方を助けることが全国で同じように困っている方を助けることにつながる。その意味でも、つながる本部を活用し社会課題の解決にまい進していきたい」と述べました。

これまで党の国民運動局が担っていた街頭演説について、今後はつながる本部の取り組みと位置づけ、青空対話集会もつながる本部が担い、全国各地で党に所属する誰もが開催できるよう発展させたいと今後の抱負を語りました。

続いて、田名部匡代本部長代行から、つながる本部の位置づけと取り組みの方向性について報告がありました。

宮沢由佳副本部長はこれまでの活動として、イベントを通じた障がい者団体やNPO 団体との交流や、映画『子どもたちをよろしく』の上映会、夜間中学に関する取り組みなどについて説明がありました。

石川県連つながる本部長の喜成清恵金沢市議は（1）労働者協同組合法を活用した地域づくり（2）夜間中学の設置に向けた取り組み ー について報告し、継続案件として取り組む意向が示されました。

早稲田ゆき事務局長からは、例年実施予定の案件として、（1）省庁担当者から直接 NPO 関連予算の説明を聞き質疑ができる「NPO 関連予算公開ヒアリング」（2）障がい・難病 PT と共催する障がいや難病と共に生きる皆さんと取り組むイベント「障がい者ヒアリング」ー について報告がありました。

新たな取り組みとして、重徳和彦筆頭副本部長から「りっけん青空対話集会」について、田名部本部長代行からは募金活動について検討している旨の説明がありました。

意見交換後、泉本部長は全ての党所属議員がつながる本部の構成員であり、誰が上でも下でもなく、皆で一緒に頑張っていきたいと語りました。

■「つながる本部」役員体制

本部長	泉 健太（代表・衆院議員）
本部長代行	田名部匡代（参院議員）
副本部長	重徳 和彦（衆院議員）
	小山 展弘（衆院議員）
	金子 恵美（衆院議員）
	青山 大人（衆院議員）
	宮沢 由佳（参院議員）
事務総長	緑川 貴士（衆院議員）
事務総長代行	伊藤 俊輔（衆院議員）
事務局長	早稲田ゆき（衆院議員）
事務局次長	岸 真紀子（参院議員）
	堤 かなめ（衆院議員）
	渡辺 創（衆院議員）

新型コロナウイルス感染予防のため常時マスクを着用することで、児童・生徒の熱中症の危険性が高まることから、市教育委員会は、全ての小・中学校のパソコン教室、普通教室及び特別支援教室にエアコンを設置した。（令和3年5月工事完了）

一方、職員室、校長室、事務室及び技能主事室（以下「職員室等」）には未だ設置されておらず、近年猛暑日が多い中、エアコンのない職員室等での執務は大変厳しいものと聞いている。

質問

職員室等に設置する考えはないか？

答弁

職員室等の環境整備については、今後の小・中学校の改修等の状況も踏まえ、適切に対応してまいりたい。

質問

職員室等にエアコンを設置する場合、1校あたりの設置費用はどれくらいか？

答弁

エアコンの増設により、施設の受変電設備を改修又は増設する工事が必要となる。1校あたりの設置費用（設計及び工事監理等を含む）の見込みは次のとおり。

○受変電設備の「改修」を伴う学校については、1校当たり約850万円

○受変電設備の「増設」を伴う学校については、1校当たり約1,880万円

※ポイント

県内9市の小・中学校のエアコン設置状況

本市を除く県内9市の教育委員会に確認したところ、9市の内、2市（三沢市、むつ市）を除く7市では、「教室と職員室等」に設置済みあるいは設置を決めているとのことでした。

本市でも、設計時点から職員室設置を想定していれば、受変電設備改修・増設工事の費用は不要だったと考えます。

※コメント

近年、教員の過重労働が認識され、労働時間削減など働き方改革が進められている中で、職員室等のエアコン設置は、労働環境改善や健康管理上も大変重要な事です。

経費の面から一度にすべての学校に設置するのが困難であれば、年次計画をたて数校ずつ設置する、建替え等で不要となるエアコンの有効活用など、早めに検討し実施するよう要望しました。